

虚弱高齢者の生活行動における自己決定に関する研究

—ケアワーカーによる支援に焦点をあてて—

○ 四天王寺大学 笠原 幸子 (2556)

キーワード：自己決定，虚弱高齢者，ケアワーカー

1. 研究目的

虚弱高齢者が尊厳を保持しながら日常生活を営むためには、高齢者自身の自己決定は重要である。しかし、日常生活の中で虚弱高齢者が自己決定の支援を受けているかといえば「ノー」と言わざるを得ない。虚弱高齢者が行う自己決定に焦点を当てた場合、高齢者の最も身近に存在しているケアワーカーの役割は重要である。本研究では、虚弱高齢者の自己決定の構造とケアワーカーの支援を関連付けて考察し、実践場面におけるケアワーカーの具体的支援を検討することを目的とする。

2. 研究の視点および方法

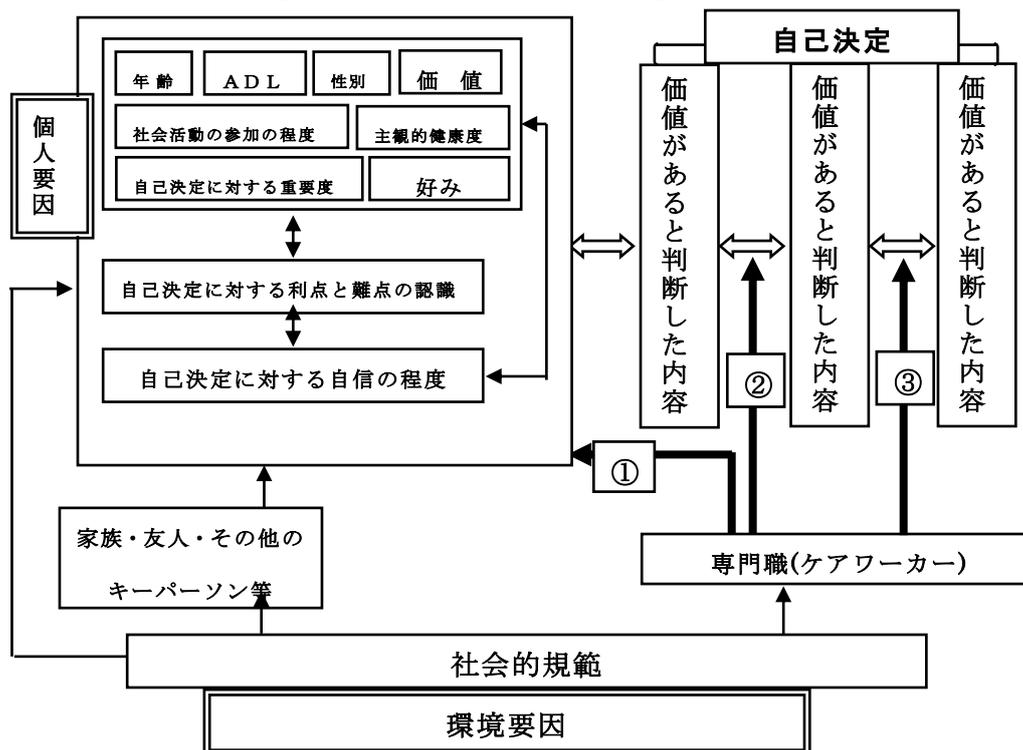
自己決定に関しては、バイスティックの7原則における自己決定の原則がよく知られている。また、障がい者の自立生活運動における自己決定言説の広がりとともに、障がい者福祉の分野では、立石(1997)は障がい者の自己決定権について論じ、与那嶺(2009)は知的障がい者の自己決定の構造について論じている。また、自己決定を行使したら、それに伴う責任も引き受けなければならないという厳しい側面に着目して、児島(2001)は「自己決定すべき」といった自己決定至上主義は誤認ではないかと指摘している。一方、高齢者福祉の分野では、和田(1991)がデンマークの高齢者の自己決定を紹介した頃より、我が国でも高齢者の自己決定に関する論文が散見されるようになってきた。酒井(1998)、角田(2004)、セリグマン(2000)は、高齢者の自己決定の困難性を指摘し、安梅ら(2006)は自己決定の阻害は虐待に該当すると述べている。しかし、角田(2004)は高齢者の表出を促す働きかけは自己決定を支援すると述べている。そこで、本研究では文献研究と質的研究を採用し、虚弱高齢者の自己決定の構造とケアワーカーの支援について関係図を提示する。さらに、ケアワーカーを対象に、非構成的面接法を採用した質的調査(2013年1月～2月に実施)を実施して具体的支援を検討する。

3. 倫理的配慮

文献研究にあたっては、自説と他説の区別は厳格に行い、他説の引用等は注意を払った。質的研究にあたっては、介護保険事業所の管理者に文書をもって調査の趣旨を説明し了解を得た上で、当該事業所で勤務しているケアワーカーを調査対象者として紹介してもらった。その後、紹介してもらったケアワーカーに調査の趣旨を説明し、データは事業所及び個人のプライバシーの保護に十分配慮し、匿名性が確保されること、面接に際しては、語りたくないことは語らなくてもよいことなどを確認し、録音することを了承のうえ実施した。

4. 研究結果

虚弱高齢者の自己決定の構造とケアワーカーの支援の関連図



岡田(2011)のサービス利用についての自己決定メカニズムを参考に虚弱高齢者の自己決定の構造を検討し、支援を3分割した(関西社会福祉学会で発表)。さらに、それらへ対応するケアワーカーの支援として①は虚弱高齢者へ「自分自身の意志と役割を持っていること」を伝える支援、②は虚弱高齢者自身の「語り」の支援、③は虚弱高齢者の「主体的実行」を引き出す支援と考察した。これらケアワーカーの支援を具体化するために実施した質的研究では「虚弱高齢者の自己決定能力の把握」、「虚弱高齢者のADLの見積もり」、「虚弱高齢者の認知レベルの見積もり」、「BPSD(認知症の周辺症状)の原因を探る」、「高齢者の居場所を把握」、「利用者が自分であることを待つ」、「いつもの介護に疑問を持つ」、「いつもと違う虚弱高齢者の状態を上司・同僚に報告」、「閉ざされた質問形式」、「開かれた質問形式」という10の概念を析出した。

5. 考察

図中の①の「自分自身の意志と役割を持っていること」を伝える前提条件として、虚弱高齢者のアセスメントが求められるようだ。また、ケアワーカーは虚弱高齢者自身の「語り」を支援するためには、「利用者が自分であることを待つ」や「いつもの介護に疑問を持つ」こと、そして、虚弱高齢者自身の「語り」を支援するためには、「閉ざされた質問形式」の活用が推測された。

参考文献

- ①岡田進一(2011.)『ケアマネジメント論』, p. 75, ワールドプランニング. ②安梅勲江, 鈴木英子(2006)家族の介護意識と要介護者の自己決定阻害の関係に関する研究-高齢者虐待の予防に向けて-, 厚生学の指標 53 巻第8号, 25-33. ③角田ますみ(2004)高齢者ケアにおける「自己決定」, 臨床看護 30(12), 1840. ④M.セリグマン(2000)津田彰監訳:学習性無力感; パーソナル・コントロールの時代をひらく理論, 二瓶社, 28. ⑤酒井忠昭(1998)高齢患者の自己決定:医療の側面から老年期における自己決定のあり方に関する調査研究, 国際長寿センター, 15.